

先生たちの様子を見れば

明快新聞



個別指導 学習塾

平成二十七年五月六日発行
明快志塾 編集部

先日より、とある都立高校の土曜補習に関わらせていただいているのですが、生徒の状況よりも、先生たちのことが気になって仕方ありません。学校も1つの組織なので、そこで働く先生方も、ある程度一定の方向を見て行動することが大切だと思わなければなりません。ところが、学校によっては全くそうではなかったりするので、当塾のHPでも、学校での先生方の挨拶や授業の様子などを書いたものをアップしていますが、そこから想像される、その学校のマイナス(プラス)ポイントが、今回こういった経験の中で、かなりの的を射ていると感じました。6月くらいから、各学校で授業公開などが始まりますが、やはり、その学校の先生たちの挨拶や、授業の様子をよく見てみれば、日常の様子はかなりのところまでわかっていることが出来るのだと思います。学校公開(授業公開)の中で、先生たちの多くが、積極的に挨拶(行動)をして、授業に創意・工夫が見られる学校は、きつとお奨めの学校です。そして、そういう学校では、生徒も積極的に学校に関わっているはずで

学校見学の際には、そういう視点をもって見ることも大事だと思います。

工夫すること

先日、一人の生徒が、学校から出された「漢字の意味調べ」というようなものを持っていました。特に何も考えずその様子を窺っていたのですが、妙に時間がかかっていることが気になり、じっくり見てみることにしました。まず、そこにある漢字を全部調べているもの、既に意味を分かっているものは、わざわざ調べる必要はないというのを伝え、さらに、辞書を使って見せたところ、「何でそんなに早く引けるの?」と少しビックリしていました。そこで『ははくん!なるほど』と思ったのです。今の子供たちは、辞書を引くことは知っていて、そこに工夫するというのが要素をつげられていないのです。例えば、「回顧」と「感慨」の2つの言葉の意味を引く場合、彼ら

は、辞書の力行のところを、前から順にページを繰って調べるので、昔から紙の辞書を引き慣れている我々からすると、「回顧」はカ行の最初の方に、「感慨」は後の方にあり、辞書を引くことを考えて辞書を引くと思いません。現代の子供たちは、「検索」という便利なツールの使い方に慣れていくので、その機能がなくなるのと、愚直に動くことしか出来なくなっているのではないか。都立高校では、まだ紙の辞書しか指定されていないところも多くありますが、それは、辞書の使い方を通じて、生徒たちに「工夫すること」を教えるようにしているのかもしれない。

編集者の独り言

自分だけでは、「自分のマイナス」をなかなか上手く見つけられないものだ。自分のマイナスというのは、よりよくなるはずのその人の性格(性質)とでも言う部分だ。人は色々な人と関わりながら、より良い自分になるようにするものだと思う。自分一人では頑張るのは悪いことではないけれど、そこにも誰かが関わっている方が良いに決まっている。そういう人の意見には、自分では気がつかない視点が必要なものだ。そういう意見を取り入れられれば、自分にとって大きなプラスになるのだと思う。自分自身のことを考えたときに、何処かに「自分は正しい」という気持ちがある。そしてそれを変えたくないと思っている自分もいる。そういう意固地な自分は、どこかで「余裕」を失っているように思う。何処かで誰かが、「そういうときには、『変える』のではなく、『付け足す』と考えれば良い」と言っていた気がする。やはり、そういうものの考え方が出来る「余裕」を持てる自分でありたいものだ。

これって常識??

(問) この問題を解いてみよう。

最近、他人事と書いて「たにんごと」と読む人が多くなっているようだが、本当は何と読む?



ど、そこにも誰かが関わっている方が良いに決まっている。そういう人の意見には、自分では気がつかない視点が必要なものだ。そういう意見を取り入れられれば、自分にとって大きなプラスになるのだと思う。自分自身のことを考えたときに、何処かに「自分は正しい」という気持ちがある。そしてそれを変えたくないと思っている自分もいる。そういう意固地な自分は、どこかで「余裕」を失っているように思う。何処かで誰かが、「そういうときには、『変える』のではなく、『付け足す』と考えれば良い」と言っていた気がする。やはり、そういうものの考え方が出来る「余裕」を持てる自分でありたいものだ。

ちょっと寄り道

ここ2~3年ほど、4月1日の都職員の人事異動を、頑張ってチェックしている。ここら辺りの小学・中学の校長先生の異動や、各都立高校の校長先生の異動の状況がメインだ。最近思うことに、「学校は校長先生のやる気と行動で変わる!」という

ことがある。これは、どんな組織でも同じく言えることだと思うのだが、何の目的もない校長先生が赴任してくると、その学校自体に「ダラダラ感」が漂い、あっという間に組織自体が腐っていく。それに反して、確固たる目標や目的を持った校長が来ると、少し時間がかかるのが 珠に瑕だが、学校にシャキッとした空気が流れ始める。赴任してくる校長先生のそれまでの発言を出来るだけ調べ、どういう考えを持った人なのかを研究するのも、地域に密着した塾としての仕事だと考えている。



新店舗オープン!!

5月1日よりフジグラ移転決定!
ミニ路面店デビュー!!
宜しくお祈りします!!

★新住所
〒166-0003
東京都杉並区高円寺南4丁目21-2
スノーポート山崎1F

可愛いPikaPika文字
結婚式ウェルカムボード
承り中!!

FUJI GRAFFITI

〒166-0003
東京都杉並区高円寺南1-11-5
パークビュー東高円寺301
電話 & FAX: 03-6794-8229
http://www.fujigra.com

吉祥寺レストランバー
AJINORI

大事なデート
小さな女子会
小さな男子会にピッタリ

ご予算にあわせて
お料理承っております。

■住所
〒180-0004
東京都武蔵野市吉祥寺本町1-25-4
平田ビル2F
電話番号 0422-27-2742
営業時間 PM5:00~AM1:00
http://www.ajinori-masa.com

どうぞお電話にて
お気軽にご相談
くださいませ。

弁護士法人 Next

Next to You

～ 市民・企業の経営者に寄り添う弁護士でありたい
～ 明日に向かう、未来に向かう、そしてそばにいる ～

どうぞお気軽にご相談ください。 **弁護士法人 Next**

■住所 東京OFFICE
〒150-0011 東京都渋谷区東1-10-11
TEL: 03-3498-1616 FAX: 03-3498-3535 http://next-law.or.jp/